

精華園だより



支える心とおもいやり

AKOSEIKAEN NEWS

令和4(2022)年
vol.105
7月発行



ヨット



ひまわり



七夕

成人支援第一課利用者様 作品



ご挨拶

赤穂精華園長

志水 満

私が当園に赴任させていただいて3年目を迎えました。この間、新型コロナウイルス感染症の拡大により、赤穂精華園祭をはじめとした対外行事の中止や利用者様と家族様との対面面会の自粛など、多くの制限をお願いしてきました。現在、世の中の雰囲気は、感染力は強いが症状は軽いことが多いとされるオミクロン株による第6波の収束以降、コロナ禍前の日常生活を再開する方向へと大きく舵が切られようとしています。しかしながら、利用者様自身の感染予防の困難さやクラスター発生時の医療や支援体制等の困難さを踏まえると、まだ利用者様への感染等のリスクが軽減しているわけではありません。大変心苦しいのですが、対面での面会などは、もうしばらく慎重に対応させていただきます。利用者様が楽しみにされている赤穂精華園祭につきましては、10月頃に利用者様と家族様限定の行事として開催することを目標に検討していきます。どうか、ご理解をお願いします。さて、令和4年度の事業運営につきましては、紙面に記載のとおり、各部署それぞれの目標（課題）に向けて事業を進めて参ります。どの目標も当園に本来求められている役割や機能を果たし充実させていくためのものです。人事異動を踏まえた新たな体制の元で、利用者様お一人おひとりを大切にする支援を追求、定着させて行けるように取り組んで参ります。ご支援の程、よろしくお願い致します。

令和4年度 赤穂精華園事業目標

児童寮

ソーシャルワーカーを専任で配置して、退所後の地域移行（卒業後の進路選択）の調整を関係機関ときめ細かく行います。また、ユニットケアの特長を活かした小規模グループケアを通じて、できるだけ家庭的で細やかな支援を推進します。

成人寮

利用者様の重度化・高齢化への対応を継続するとともに、強度行動障害に関する研修受講による人材育成、虐待防止研修の強化に取り組めます。

やまびこ寮

移動販売車の導入による売り上げ増や作業種目の拡充を行い、B型事業の工賃向上に取り組めます。

地域支援

障害のある方が地域で生活するため、暮らしと仕事のサポートを行うとともに、地域福祉の拠点として各種福祉サービスを提供していきます。

移動販売車

honoka(ほのか)デザイン

やまびこ寮では、パン洋菓子工房 honoka の販売先拡充のために新規移動販売車の導入を計画してきましたが、当園保護者会にご寄附をいただき、このほど3月末に車輛が完成し、4月10日(日)には同保護者会役員の方々に待望のお披露目会を行いました。

この車は昨年先行して導入された五色精光園のものを参考にし、デザインは honoka が日頃お世話になっている(株)フアドロ様にし、店舗のイメージカラーである赤を基調に大変かわいらしくラッピングできました。

早速市内各所や西播磨地域をはじめ、備前市内など岡山方面へも出かけています。特に神戸ボックスサン代表・福原シェフ監修のシフォンケーキは人気が高く、赤穂近辺ではどこのお店にも負けません。町のどこかで車を見かけましたら、応援をよろしく願っています。



令和3年度 赤穂精華園決算報告

(単位：円)

	収 入		支 出	
	勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事業活動による収支	児童福祉事業収入	165,747,965	人件費支出	815,631,330
	障害福祉サービス等事業収入	1,184,722,583	事業費支出	205,192,555
	受託事業等収入	23,935,481	事務費支出	120,243,571
	経常経費補助金収入	12,854,858	就労支援事業支出	30,669,504
	経常経費寄付金収入	200,000	その他の支出	872,359
	過年度収入	2,612,642	流動資金評価損等による資金減少額	0
	その他の収入	1,645,941		
	受取利息配当金収入	7		
	就労支援事業収入	30,669,372		
	事業活動収入計	1,422,388,849	事業活動支出計	1,172,609,319
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	固定資産取得支出	18,330,730
	固定資産売却収入	0		
	施設整備等収入計	0	施設整備等支出計	18,330,730
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	22,213,000	積立資産支出	96,488,000
	拠点区分間繰入金収入	386,000	拠点区分間繰入金支出	150,405,000
	サービス区分間繰入金収入	0	サービス区分間繰入金支出	0
	その他の活動収入計	22,599,000	その他の活動支出計	246,893,000
	収入計	1,444,987,849	支出計	1,437,833,049
			前期末支払資金残高	63,762,848
			当期末資金収支差額	70,917,648

児童支援課

カートンドッグ、

巨大プリン作り

5月2日(月)に「おもしろ実験」と称してカートンドッグと巨大プリンを作りました。ソーセージとキャベツをパンに挟み、牛乳パックに詰めると……パックに着火！燃え尽きる頃にはちよつど良く温かくなったホットドッグに焼き上がりしました。プリンはひつくり返したときに崩れてしまわないかハラハラ……、ドキドキ……。見事、ツルリとプリンが現れた瞬間には、大きな歓声と拍手が巻き起こりました！あとはフルーツやクリームを使い、みんなで飾り付けをしました。どちらも美味しく、みなさん二口目ですぐに笑顔になりました。

コロナ禍で我慢が続く時勢ですが、園内でも楽しくすごせるような支援を続けていきたいと思っています。



成人支援第一課

創作活動の様子

成人一課生活介護通所班では、創作活動として、利用者様が大好きなキャラクターや、季節に応じた挿絵などを、ちぎり絵にして作成しています。出来上がった作品は、園だよりの表紙にも使われていますので、ぜひご覧下さいませ。



スポーツ大会に参加しました

5月末に開催された、のじぎくスポーツ大会に一課からは4名の利用者様が参加されました。フライングディスクに出場され、設置された輪の中にどれだけ入れることがでよるのか競われました。一定数入れた選手にはメダルが贈呈され、1名の利用者様がメダルを獲得しました。参加された利用者様に感想を聞いたところ、「楽しかった」「メダル貰った」な



成人支援第二課

行動援護従業者養成研修の受講

「行動援護従業者養成研修」とは、障害者総合支援法に基づき、障害により、行動上著しい困難があり、常時介助を必要とする方に対して、特性等を踏まえた支援計画などにより、行動時に生じる危険を回避するために必要な援護等の知識技術を習得する研修です。行動援護業務に従事する人は必須の資格となっています。

成人支援二課では、順次研修の受講をすすめています。今年度も、新規で二課に配属された職員に研修を受講していただきました。こだわりの強い利用者様もたくさんおられるため、支援の難しい場面もありますが、学んだことを踏まえて、二課の利用者様の支援に役立てるようにしていきます。



成人支援第三課

夏にピッタリな

新しい作業が

始まりました



成人支援第三課では今年度からティーパックの袋詰め作業が始まりました。この作業はティーパックを決められた数だけ数え、向きを整え、袋に入れていくという作業です。利用者様は数を数えることや、奥までティーパックを入れることが難しいようですが、数える人と袋に入れる人を分担したり、袋に入れた後、重さを量って確認したりして工夫しながら作業に取り組まれています。



お花見会

4月7日にグラウンドで、桜のお花見会を行いました。

青空のもと「honoka」のドーナツとジュースを飲食しました。笑顔で「おいしいや」「きれいな」という言葉が多く聞かれ、それぞれ楽しめた様子でした。

今後も、長い自粛生活のストレス解消に繋がられるようなお楽しみ会を実施する予定です。



ど嬉しそうな表情で話されていました。

男性棟

女性棟



地域支援

地域支援では主に4つの事業を行っています。共同生活援助事業所ではグループホームの運営。放課後等デイサービスでは授業が終わったあとや長期休暇などの日中活動の支援。相談支援事業所では福祉サービスを利用するための相談支援。障害者就業・生活支援センターでは障害のある方の就業とそれに関する生活の支援を行っています。その為日々多くの方が訪問され、電話での対応もとぎれることがなく、活気のある事業所となっています。これからも地域に密着した利用者様の笑顔がある福祉サービスを提供していきます。



総務課



横山 絵麻

まだまだ不慣れな点がありますが、総務事務に努める事で、利用者様が安心安全に生活できる環境整備の手伝いをしたり、働く仲間のサポートが少しでもできるよう尽力します。



中田 智尋

事務局より赤穂精華園に赴任してきました。業務に早く慣れて、施設運営に少しでも貢献出来る様に努力していきます。よろしく願い致します。

地域支援



北上 あかり

まだまだ力不足ですが、笑顔と元気を大切にして、精一杯頑張っていきたいです。



森田 圭一

この度正規職員となり、心機一転気を引き締めて頑張ります。これまでの経験をいかしつつ何事にもチャレンジし日々精進していきます。



岸本 敏 次長

いつの間にか、古株と言われる年代になってしまいました。精華園の歴史を知り、その上で新鮮さにあふれる支援ができればと考えております。これからもよろしく願いいたします。

成人支援第一課



上田 ゆみ子

今回、新規職員となり新たに気を引き締めるとともに、利用者様には、少しでも楽しく、心地よい時間を過ごしていただけるように笑顔を保ち、日々努力していきたいと思います。



平田 和照

4月から正規職員となり、利用者様の尊厳と人間性と人権と人格を尊重した支援を心がけています。利用者様にとって心地よい場所となりますよう、努力いたします。



木下 久美

今まで経験してきた看護の対象と違い戸惑うことが多いですが、先輩方に指導して頂きながら利用者様が安心・安全に生活できるように一人ひとりに寄り添った看護が提供できるように努めていきたいです。



三木 敦智

福祉に携わってきたことはなく、赤穂精華園が初めての経験となります。ミスも多く、まだまだ至らぬ所も多いですが、利用者本位の支援を心がけ、より良いサービスを提供できるよう精進いたします。



前淵 芳枝

万寿の家から移ってきました。4年振りの赤穂で、利用者様の成長されている姿や笑顔を見ることができています。今後も、笑顔が見られるよう努めて行きます。よろしく願いします。

成人支援第二課



木村 清子

これまでと全く違う業務となり戸惑いはありますが、利用者様の皆さんや先輩職員の皆さんと楽しみながら業務に取り組んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。



倭 さとみ

精華園で働けることが嬉しいです。支援を行うことは、その人の特性を生かし、一人ひとりを見て対応することだと思います。利用者様と信頼関係を築いていける様に日々研鑽していきたいと思います。



吉川 龍之介

利用者様と共に過ごし、利用者様が施設での生活を楽しく、より良い生活が送れるように支援していきますのでよろしくお願いします。



茶谷 健介 課長

赤穂精華園は3年ぶりの勤務で、成人二課は20年ぶりになります。精華園に少しでも貢献できるので頑張りますので、あらためてよろしくお願いします。

成人支援第二課

新任。
新規職員紹介

人の動き

退職者

小林 育美	成人支援第二課長	成人支援第二課
坂東 知佳	支援員	児童支援課
岡上 優子	看護師	成人支援第一課
藤田 知輝	支援員	成人支援第二課
中尾 知里	看護師	成人支援第三課
前川 百合	支援員	成人支援第三課
池口 優	支援員	成人支援第三課
池田 藍花	支援員	課長(地域支援担当)付
藤村 明美	支援員	課長(地域支援担当)付

転出者

谷川久美子	次長兼児童支援課長	清水が丘学園へ
黒川 耕次	課長(地域支援担当)	小野福祉工場へ
阿山 和穂	主事	西播磨リハへ
大町 文規	支援員	総合リハへ
石山 武典	支援員	総合リハへ
金元 賢太	支援員	あわじ荘へ

転入者

岸本 敏	次長兼課長(地域支援担当)	課長(地域支援担当)付
茶谷 健介	成人支援第二課長	成人支援第二課
中田 智尋	主事	総務課
前瀬 芳枝	支援員	成人支援第一課
吉川龍之介	支援員	成人支援第二課

採用者

〈総合職員〉

三木 敦智	支援員	成人支援第一課
木下 久美	看護師	成人支援第一課
北上あかり	支援員	課長(地域支援担当)付
木村 清子	支援員	成人支援第三課
森田 圭一	支援員	課長(地域支援担当)付

〈一般職員〉

横山 絵麻	主事	総務課
衣笠 裕貴	支援員	成人支援第一課
貝阿彌順一	支援員	成人支援第一課
平田 和照	支援員	成人支援第一課
上田ゆみ子	支援員	成人支援第一課
倭 さとみ	支援員	成人支援第二課

〈契約職員Ⅰ〉

岡上 優子	看護師	成人支援第三課
-------	-----	---------

〈契約職員Ⅱ〉

高田 翔子	支援員	児童支援課
佐々野信代	支援員	成人支援第一課
西原 千晶	支援員	課長(地域支援担当)付
大田 修子	世話人	課長(地域支援担当)付



「雑感」

次長兼課長(地域支援担当) 岸本 敏

4月1日付で五色精光園から赤穂精華園に着任いたしました。
「7年ぶりの精華園はどうなんだろうか。『去る者日々疎し』ということわざは、居なくなれば忘れさられるという意味だっただけ。みんなから忘れられてはいないだろうか」と不安があったのですが、成人一課のロビーで感じた自然な雰囲気には驚いてしまいました。そして成人二課の重度棟に足を踏み入れると懐かしさでいっぱいになりました。今は建物も老朽化していますが、事業団のスタートがこの重度棟だったのです。どんな仕事でもはじめて働いたときの経験は、その後の人生に大きく影響をおよぼします。自分の意思を言葉でうまく伝えることができない。体も思いどおりに動かせない。そしてわたしたちも加齢とともに、近い将来そうなっていく。そのときどのような支援をもらいたいのか。こんなことを空想する年代になると、自分を顧みることのなかった時代に戻って、やり直すことができればという気持ちにもなるのです。

精華園では若い職員とともに、定年を迎えてなお現役で働いていらっしゃる方がおられます。春になればOBの方が花見に訪れ、園祭では昔話に花が咲きます。障害者雇用もすすんでいます。いろいろな世代が一緒に働く。障害があっても一緒に働き生活する。これからも精華園がそうした場所であり続けま



医務室から



熱中症を予防するには

●野外では



- ・天気予報など熱中症に関する情報を確認する
- ・暑い時の外出を控える
- ・時々涼しい場所で休憩を取る
- ・経口補水液などこまめに飲む

●室内では

- ・エアコンを昼夜適切に使う
- ・扇風機を併用する
- ・温度計や湿度計を利用する
- ・日よけやカーテンで窓際の日差しを遮る



上記の事に気をつけて熱中症の予防を心懸けよう(^^)

関西福祉大学・赤穂精華園共同プロジェクト 『新しい・障がい理解ハンドブック』の出版について

本年で4年目となる、関西福祉大学・赤穂精華園共同プロジェクトでは、「障がい理解を深める取り組み」を継続しています。昨年度は、関西福祉大学社会福祉学部長の中村剛教授のご指導の下、『新しい・障がい理解ハンドブック』の作成を行い、赤穂精華園も編集協力をさせて頂きました。本書では、保護者の方の体験談なども踏まえた、「障がいを理解するために必要な考え方」が示されており、「人間や地域、社会のあるべき姿」を考えるきっかけとして、是非ともご一読頂ければと存じます。

書 名:『新しい・障がい理解ハンドブック
共生社会を実現するために必要な考え方・知識・配慮の仕方』
著 者:中村 剛
編集協力:赤穂精華園
出 版 社:学術研究出版
価 格:1,320円(本体価格 1,200円+税)



編集後記

梅雨が明け、いよいよ本格的に夏が到来しますね。今年の夏は、例年よりも暑くなるそうです。十分に水分を摂り、熱中症に注意しましょう。

さて、新任・新規職員が加わり今年度がスタートしました。精華園でも少しずつ利用者様が外出する機会が増え、行事を楽しんでいます。まだまだコロナの影響は大きいですが、今年の夏を思いきり楽しみましょう。次回の園だより106号もお楽しみに。

編集委員一同



職員募集

一緒に働いてみませんか?

赤穂精華園では、利用者様の生活をさらに充実したものにするため、支援員や世話人を募集しています!!

募集職種

①常勤支援員(契約職員Ⅰ)

入所施設における早出・遅出・夜勤のローテーション勤務

②世話人(契約職員Ⅱ)

※ホームにより夜勤業務あり
市内グループホームにおける概ね朝・夕各3時間程度の勤務

③夜間支援員(契約職員Ⅱ)

※女性利用者様の支援
入所施設における夜勤業務(週1~2回)

知り合いの方が仕事を探している、福祉の仕事に興味がある等ございましたら、まずは下記までお電話ください。業務内容等説明させていただきます。

お問い合わせ先

☎0791-43-2091【担当:梅田/前田】